

1月24日
～ 30日は



全国学校給食週間

1月給食だより 臨時号 No.1



1月24日から30日の1週間は「全国学校給食週間」です。学校給食の意義や役割についてたくさんの人に知ってもらい、これからの学校給食を一層の充実と発展を図ることを目的に行われています。

《 学校給食の始まり 》

学校給食の始まりは、明治22年、山形県鶴岡町（現在は鶴岡市）にある小学校で、お弁当を持ってこられない子どもたちを対象に、無料で食事を提供したことからと言われています。その後、全国で学校給食が実施されるようになりましたが、戦争による食糧不足で中止されました。



《 全国学校給食週間とは 》

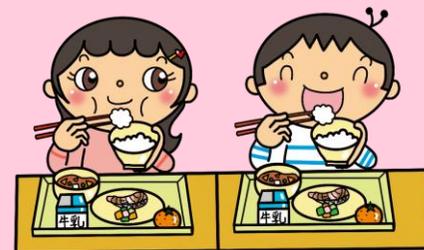
戦後の食糧難により子どもたちの栄養状態が悪化したことから、その必要性が叫ばれるようになり、外国からの援助で再開することになりました。



昭和21年12月24日に、新しい学校給食が始まったことから、この日を「学校給食感謝の日」としましたが、冬休みに入ってしまうため、1か月後の1月24日から30日までの間を「全国学校給食週間」とすることが決まりました。

《 学校給食の役割 》

現在では、食べることが困難だったころから大きく変わり、偏った栄養摂取をはじめ生活習慣病の増加など、子どもたちの健康状態が心配されることから、バランスのよい食事のお手本として、学校給食は「生きた教材」の役割を担っています。



北空知圏（1市4町）の地域では、多くの種類の農畜産物が出荷されています。

学校給食で提供している食材は、その中の一部ですが、少しでも多くの地域食材を活用できることを目標に、これからもおいしい給食を届けていきます。

みなさんが知っている『地域の食材』、何種類言えるかな？

まだまだ、たくさんあるよ！



～ お知らせ ～

『全国学校給食週間』中は、地域の食材を使ったメニューや郷土料理を給食で提供します。